



アズベリー・リバイバル

OCC宣教部 植村公美子

「2023年2月8日水曜日のチャペル。アズベリー大学では毎週水曜日にチャペルがあり、単位取得のために学生達がいつものように集まっていた。しかし、この日はいつもとは違う簡単には説明できない何かが起こりはじめました。学生は去らず、彼らは、静かながら力強い超越的な感覚に襲われ、そこを離れたくないと思いませんでした。そこに留まり、礼拝を続けました」(クリスチャン新聞 3/5 一部抜粋)

右下の写真はその時の様子を撮影したものです。(提供=岡谷和作氏)

※新聞記事・写真について掲載の了解を得ています。

夕方になっても、彼らはまだ礼拝を続けていました。翌日の朝も。座る席などなく立っているしかない中、近隣からも人々が続々と集まってきて夜通し祈っています。

アズベリー神学校(米国ケンタッキー州)教授トム・マッコール氏のことば(一部)と祈ってほしいこととして内容をクリスチャン新聞の記事より記載します。

記

「分析学者として、私は誇大広告を警戒し、霊的な『操作』について非常に慎重です。それは時に空虚だけでなく、有害でもありました。しかし、実際のところ、今回起きている出来事はそのようなものではありません。同調圧力も誇大広告もありません。霊的操作も高慢な感情移入もないのです」。あるのは「穏やかで平穏なもの」「鮮やかで力強いシャローム」。「希望と喜びと平和の混ざり合いは、言葉では言い表せないほど強く、実際、ほとんど明白です。鮮やかで信じられないほど強力なシャロームの感覚です。聖霊のミニストリーは紛れもなく強力ですが、とても優しいものでもあります。このようなリバイバルが私たちの世代にどのような実を結ぶかを楽しみにしています」-

※毎水曜日、8Fチャペルで礼拝を行っています。

※隔週金曜日、8Fチャペルでフライデーナイト開催中。

≪今月の水曜礼拝 (水曜日 14:00 ~ 15:00) ≫

日付	メッセージ(敬称略)
4月05日	ペアンテ・ポーマン
4月12日	山村 諭
4月19日	村上 宣道
4月26日	阿部 頼義

≪今月のフライデーナイト (金曜日 19:00 ~ 20:30) ≫

日付	メッセージ(敬称略)	ゲスト(敬称略)
4月07日	アーサー・ホーランド	三上 謙久
4月21日	関根一夫(オンライン配信)	

***2023年3月からOCCフライデーナイトは、事前登録・人数制限を解除して開催させていただきます。**



【祈ってほしいこと6つ】

- ①この神の恵みがここで終わるのではなく、リバイバルの素晴らしい目標である罪人が罪の意識、罪の力、罪の恥から開放されること。
- ②学長及び主要なリーダーたちが、神の御心と全く一致した決断を下すための知恵が与えられるように。
- ③この神の働きが個人の生活や地域全体にまで完全に行きわたるように祈ってください。
- ④世界中から見知らぬ外部の人々が学生たちの居所であるキャンパスに押し寄せる中で、アズベリー大学の学生たちとウィルモアという大きなコミュニティが守られるように。
- ⑤この神の力強い働きをスキャンダラスにし、利用し、偽造しようとする闇の力からの誘惑が起こらないように。
- ⑥この神の働きが主イエスのために世界を変える伝道、そして宣教を引き起すきっかけとなるように。

お茶の水クリスチャンセンターは、キリストの宣教命令に基づき、主の教会に仕え、諸宣教団体と共に1%の壁を越えることを目標としつつ日本宣教に励み、主の働き人の育成に尽くす。

「兄弟たち、私が心の望みとし、また彼らのために神に願いを求めているのは、彼らの救われることです。」 ロマ10:1

〈お茶の水クリスチャンセンターの目指すところ〉

1. 常に仕える姿勢を失わない
2. センター内の宣教団体と協力して宣教にあたる
3. 全国の教団・教派および教会に仕え、諸団体と共に宣教する
4. 教育に役立つ場を提供し、次世代の働き人の育成に努める
5. センターのビルを、諸教団、教派および教会の諸宣教団体の働きと宣教のために最大限に活用できる場として提供する